

基本理念は、地域に親しまれ信頼され愛される病院、目指す方向性としては患者の皆さんに安心して選んでいただける病院、開業医の皆さんに在宅医療のバックアップとして信頼して選んでいただける病院。それからお医者さん看護師さんが是非公立雲南病院で働きたいという病院を目指すという大きな目標を掲げて、たいへん厳しい中だが最低限必要な救急医療を維持する。あるいは急性期と回復期の病院機能を維持する。松江出雲の高度医療との連携、開業医との連携をしながら公立雲南総合病院がこの地域で役割を果たす。これから取り組むということで努力を重ねているところである。

まだ不十分だが、たいへんな中で出来るだけお医者さんも地域の中へ出掛けて皆さんといろんな意味で話しをしながら、努力したいと言う気持ちである。また大東が地元の病院だということで、市民の皆さんにボランティア活動を積極的に取り組んでいただいている。こういった背景を受け病院職員もいっそう頑張ると考えるので、どうか地域の皆さんの叱咤ご激励・暖かいご理解とご協力をいただきたい。(健康福祉部)

2 1. [道路・河川]

吉田町吉田地区

Q 3 2 7 [市道改良のお礼と要望について]

昨年度の地域課題でもあった菅谷たたら周辺の道路整備については、早速今年度から着工ということで整備をすすめていただき改めてお礼申し上げたい。引き続き、駐車場整備やその活用についても、地域の活性化につなげていただけるように相談をさせていただきたい。

A

竜宮線の整備については、市にとっても高速道路の関連で整備が必要であった。地元のご理解をいただいたことに私どもからもお礼を申し上げたい。駐車場整備についても出来るだけ早く地元の方と協力をして取り組んでいくので、引き続きよろしくお願ひしたい。(市長)

掛合町掛合地区

Q 3 2 8 [三刀屋川の流れについて]

自分の家は郡橋から100m付近のところにある。生活をするようになったのは12年くらい前から。家の前から下がって、川幅の2/3位まで岸があったが、5年位前から川の流れが変わった。これは松下運送付近の堤防が崩壊し、工事が行なわれたのが原因ではないかと自分では思っている。現在、12年前と比べると川が4m位家に近づいている。当初は国道54号の堤防側を流れていたと思うが、今は逆になっている。今のうちに川の流れを変えてもらえたら、また元にもどるのではないかと思っている。

A

三刀屋川だと思うが、島根県が管理している。木次に雲南県土整備事務所があるので、協議・相談を行い、早い段階で対応ができるように努力したいと思う。結果については直接お話をさせていただく。(掛合総合センター)

掛合町多根地区

Q 3 2 9 [市道多根須佐線の整備について]

下多根から上多根、須佐へ抜ける多根須佐線は40年くらい前に完成した道路で、下多根から上多根へ上がるころだが、昔のことで道路の法を削ってそのままという状態のところほとんどで、ここ数年、一年に一回必ず崩れるとか石が崩落するとか、というようなことが毎年起こっている。今はスクールバスは通っていないが、子どもがいる場合はそこをスクールバスが通ったり、だんだんタクシーが通行する場合がある。多根で言えば一番真ん中の道路であり、こういった会がある場合には必ず通る道路である。これから雨季に入るので、石が落ちてくるとかいうこともあると思う。これまでこのことを合併以降、中多根自治会として地域要望を2回位した記憶があるが、今まで確認したことがあるのだろうかということ、したことがなければ見るだけでも見ていただきたいと思います。

A

多根須佐線は幹線道路で5.7キロある。現地を最近確認したが、下多根から上がった最初のヘアピン状のカーブが非常に狭い。長迫農道へつながる道も狭く、道路にも亀裂があることを確認した。また崩落箇所も真砂土に転石が混ざっているような泥で非常にもろい。山崎線までは予定に入れている。出来山寺谷線が終了次第着手する予定だが、なかなか多根須佐線については2車線というわけにはいかないので待避所等を入れながら行いたい。また現場を見て、詳細をセンターと一緒に検討したい。(建設部)

Q330 [市道長迫上多根線の整備について]

長迫から上多根の農道空港へつながる新しい道路ができています。長迫からずっと上っていくと農道空港へ出るわけだが、途中道も狭く、間違えて下りて来るような方がいて、もちろん地域の方も利用するが、ガードレールもなく、すれ違いも困難で石が崩れる所があるということで、長迫上多根線については多少拡幅をしないと今のままでは非常に難しいのではないかと。また道路から下が高く、落ちてからでは遅いのでその前をお願いしたい。

A

長迫上多根線は上の農道空港の関係で大きい道があった後で、幅が3メートルくらいしかない道路になるということで、砂防ダムのところがオーバーレイがしてあったが、その前後は非常に高いし、上から下りてくるとよけるところもなく、大変だと思っている。ここも2車線は困難なので待避所等を入れ、1.5車線改良を行うなど、センターと一緒に検討していく。現在合併時から継続している路線を精力的に行っているの、これが終了次第逐次取り掛かりたいと考えているし、計画にも各町に分を載せているのももう少し待っていただきたい。維持管理費も各町で1000万ずつの予算を持ってはいるが、それもすぐ使ってしまうということがあり、その辺りも検討していきたい。(建設部)

Q331 [志食橋欄干改修について]

地域要望にも挙げたが、国道54号に架かる志食橋の欄干等に錆びや亀裂が入っている。志食自治会では国道に出るにはこの道しかなく、西志農道ができてからは西谷地区から国道へ出る車も多いし、スクールバスが来て歩いて通学という子供は少なくなったが、地域の幹線でもあり修繕をお願いしたい。また、進入口が狭く、大型バスが直接入れないために坂本を迂回し、西志農道を下りてくる現状なので、修繕と併せて拡幅をお願いしたい。

A

志食橋の欄干の補修について、地域要望を受け、現地確認の結果、結論から言うと今年のところで補修工事で対応したい。現在若干調査と、準備も必要なので、もう少しお待ちいただきたい。工事の際には作業場とか足場を設置する必要があり、三刀屋川は県河川であるため、県と占用協議が出てくるので、それをクリアしてから工事に入りたい。予定としては早くても今年の9月ぐらいになると思う。いずれ地元に出かけて工事の細かい説明なりをさせていただくのでご協力願いたい。(掛合総合センター)

掛合町入間地区

Q332 [県道宮内掛合線寺谷地内の道路改良について]

県道宮内掛合線につきましては、おかげをもちまして国道54号からのアクセスとなる部分の改良工事が進められており、その進捗状況にも目を見張るものがあります。

本年3月には、寺谷公会堂から影山肇宅付近までのバイパスも完成し、車での通行も非常に安心してできるようになりました。しかしながら、未だ車での離合が困難な箇所もあり、冬季などはスタグ(雪にはまる)するなど、路外逸脱とトラブルが多く発生しています。全般的には拡張の方向に向かっておりますが、できれば全線2車線の道路としていただきたく、地域としまして強く要望いたします。

A

現在54号線から下手に向って現在工事を行っており、平成23年度に完成をする予定である。今説明があったように、道幅が特に狭い区間が270mある。23年度の国道取付が終わったら、引き続き県道改良に取り組むように雲南県土整備事務所にはしっかりと働きかけたい。(建設部)

Q333 [市道穴見大呂線穴見地内の道路改良について]

掛合町穴見地内の道路については、県道及び飯石広域農道を中心に整備をしていただいておりますが、

地区内で唯一改良がなされていない箇所が永見利夫宅前三叉路より本間敏幸宅付近の道路であり、大型車が通行するにも困難な状況です。災害時及び緊急時において大型車両が乗り入れ等をする場合においては危険性も高く、またブラインドとなる曲がり角もあり、改良が必要と思われますので地元コミュニティーとしても強く要望いたします。

A

現在、市道整備は12路線に取り組んでいる。合併当時、30数路線あったが、現在継続しているものについては12路線まで落ちている。これまで継続事業を進めながら、新たな新規要望が各地域から出されている。これらの部分については、継続路線が一段落したところで、新たに新規路線に着手する。優先順位、緊急性、そういったものを勘案しながら重点的に取り組んで参りたい。また地域バランスも考えながら選定し配分をしたい。(建設部)

[追加意見]

市道穴見大呂線についてであるが、継続路線が12路線まで減ってきて、新規路線には着手しないということではほとんど目処がないような言い方である。まず要望があったところはどういうところか確認をしているのであれば、先ほど地域バランスを見てということであったが、いつ頃になるのか。検討しますばかりでは・・・。財政のこともあってなかなか言われないことかもしれないが、地域に住むものとしては雪のことがあったりして、県道については進めてもらえるようになったと思うが市道については吹き溜まり等があって、通行に困難を極めているところなので、地域バランスを見ながらなんとか早い時期に着手していただきたいと思っている。

[追加意見]

この路線が12路線に含まれているのか判らないが、地区としては要望書なり陳情書なりを出させていただくということにしたい。

三刀屋町一宮地区

Q334 [県道出雲三刀屋線の改良について]

出雲三刀屋線伊萱地区の道路補修事業は6年くらい前に家の立ち退きも終わり、3年で道路ができると思っていたが、今日の説明では、工法を検討して修正設計を行う予定だと言われた。結局いつごろ完成するのですか。この道路は狭く、センターラインもガードレールもない。大型車とすれ違くと危険。国道の4車線化工事に伴う拡張工事は順調に実施しておられるのに、交通量の多い伊萱はなぜ進まないのですか。

A

県道の要望は毎年伺っている。当初は寺谷川を渡って山側を拡幅の予定でしたが、山の法の切り取り残土を出雲側への盛り土に使う予定でしたが、県が調査を行われ、土質が非常に悪く、当初計画の通りで実施すると莫大な費用がかかるので、再度検討が必要となりました。なるべく山を切り取らない方法で検討していくとのことでした。先般地元でも説明会を実施されたところでした。施工は次年度以降になります。県にも早期実施を引き続き要望していきます。(建設部)

毎年、雲南市内を通っているすべての県道について関係自治体と一緒に県に対して要望活動を実施しています。出雲三刀屋線についてもなんとか早期にできないかと言っている。どうして早くできないかとも強く言っている。工法の検討で時間がかかっているのは伺っている。今後も要望は続けていきます。(市長)

Q335 [関連質問]

先般、若宮地内の県道で自動車事故が発生しました。毎年大きな事故が発生しています。伊萱も今後工事が進み、良くなると交通量もふえ、スピードも出す車が多くなるだろう。小原からみしまや間は危険です。将来的には国道54号線から直接小原まで通すような道路を作るような構想があるのか伺います。

A

ご指摘の場所はカーブも急で事故がよくあると聞いています。県も昨今の財政状況から、新たに橋を架けることが伴う工事は特に難しいと聞いています。以前は構想があったこともありますが、現状では難

しいと思われま。しかしながら事故が発生した事案もありますので、管理者の島根県に改良や要望は伝えていきたいと思。 (建設部)

Q 3 3 6 [関連質問]

出雲三刀屋線の伊萱地内では白鳥が飛来し、見に来る方も多。道路幅は広ですが、車を止める場所がない。狭い所に無理やり駐車される方などがおられ、通勤時などは非常に危険。広い所に駐車できるような環境を市から県に働き掛けてもらって、整備してもらい安全に見られるようにしてほしい。

A

先般、議会の一般質問でもありましたが、県堤防ですので、すぐに改良することは難しいと回答を受けています。何らかの対応ができないか県に引き続き要望していきます。 (建設部)

Q 3 3 7 [関連質問]

もし、小原地内の山沿いの崖がくずれて、三刀屋川を塞いでしまったら、給下は冠水するであろう。並行して、伊萱から自転車通学している子供も崖下の道路を通学している。崩れる危険があり、大変心配。また、小原の潜水橋が補強され、三刀屋川の堤防決壊の心配が増えた。地王・三谷川も冠水の危険がある。できるだけ早く小原から木次町下熊谷の国道54号へのアクセス道路を完成させていただき、子供たちの通学路も安全を確保していただきたい。事故が起こらないと計画が進まないということではおかしい。

A

今後も県・国に対し強く要望していきます。 (市長)

Q 3 3 8 [寺谷川樋門の整備について]

県道改良の計画変更によって、寺谷川樋門の本設置が先行実施計画され大変うれしい。樋門ができることで、水害の心配も少なくなる。できるだけ早く施工されるようお願い。 (市長)

A

寺谷川樋門の本設置は市としてもうれしいことですので、県に早期の施工を強く言っていきたいと思。 (市長)

三刀屋町飯石地区

Q 3 3 9 [県道改良について]

三刀屋吉田線・掛合大東線の整備について部分改良は進んでいるが、全体的な改良が進むよう、県に改良促進と拡幅工事推進をお願い。 (建設部)

A

どちらの一般県道とも最近では財政的なこともあり、部分改良で退避所を設けながら進めていくようになっています。中野・飯石間を結ぶ主要な地方道路ということで、わずかながらですが、危険なところなどの調査をしながらやっています。今年度では、掛合大東線で退避所1か所と、カーブ改良を1か所実施中。吉田三刀屋線では歩道整備を少しずつ実施。また、災害時の迂回路のことも考えつつ、改良していくよう県に要望。 (建設部)

加茂町加茂あかがわ連合会、加茂中団地地区

Q 3 4 0 [斐伊川の樹木の伐採について]

川の流れを悪くするので、斐伊川の樹木の伐採を陳情。 (市長)

A

斐伊川河川整備計画に則った流量が確保されるように、しつこく国土交通省に陳情。 (市長)

Q 3 4 1 [道路の修繕について]

道路の修繕について要望を出しているが、後回しとなっています。連担地内には39年からの古い側溝、路地もありますので、そういったところの修繕にも予算をつけていただきたい。

A

道路修繕については、少しずつですが行っているところ。新たな要望については、総合センターまでお願い。 (加茂総合センター)

道路の修繕について、緊急順位をつけて粛々と進めているとことです。社会資本整備総合交付金事業という事業があります。この制度は2～3年スパンで整備を行う事業です。

まずは、総合センターに相談していただいて、その後、本庁で取り組める内容であれば事業実施というように考えております。(建設部)

加茂町中村・昭和・星野・雲並、東谷、砂子原、中村団地、東谷団地地区

Q342 [河川の浚渫と横断溝の修繕について]

地域要望をしているが、なかなか対応してもらえない。スピードアップしてやってもらいたい。川掘りと横断側溝の前後の舗装は、いつしてもらえるか

A

舗装修繕については、2週間以内のところに対応します。

川掘りについては、スピードが遅くなっておりますが、中村中自治会以外から要望が出ておりますので、調整を取りながら対応したいと思っております。(加茂総合センター)

[再質問]

2・3年前から要望しているが対応してもらえない。スピードアップして、やってもらわないと地元は大変困っています。

A

優先順位をつけながら行っているのだから、なるべく早く対応するように努力しますので、今しばらくお待ち下さい。(市長)

木次町日登地区

Q343 [市道の災害復旧について]

中谷地区では災害により市道法面が崩れ、市に災害復旧を要望したが、市では対応できないので農地・水・環境保全向上対策でやってくれと言われ、そちらで復旧した。その後自治会内から市の対応に問題があるのではないかという意見があり、再度市と協議したところ「市の対応がまずかった、申し訳ありません」という返答があった。災害復旧及び地域要望は、市の誰が判断し、判断の基準は何に基づくものか。

A

公共災害復旧については、基本的に被災額60万円以上が国の事業の対象となり、60万に満たないものは補助の対象にならないため、市の単独財源での対応とならざるを得ず、緊急を要するものは予算補正で対応しますが、小災害についてはある程度一定のものにまとめて実施することとなります。その間応急措置として土砂取り、土のう積み等で対応します。総合センターと建設部とで協議し、まず現場を把握し被災額を見積もって60万円を境にして対応を検討するということとなります。(建設部)

21年度に中谷地内、市道寺領阿用線の敷地下の法面が崩れ、道路脇の田んぼの用水路に泥が入り塞いだという案件ですが、先ほどありましたように事業費60万円未満のものでしたので直接道路、路肩に影響がなく緊急の対応ができず、泥取り等を地元でお願いしたということです。今回のような災害復旧の採択基準に満たない場合については、今後も現地の状況によって個別に協議させていただきたいと思っております。市としては通行に支障がある、市道として安全確保ができないといった重大な災害から早急に対応させていただきたいと思っております。(木次総合センター)

木次町新市地区

Q344 [市道新市中央線道路改良工事について]

また要望書で出したいと思うが、新市中央線改良工事は終了したのか。当初は吉井の山を削っていくという説明だったが、当初の説明と若干変わってきたかなという理解でいる。地域住民の大きな犠牲があつてきたということ認識していただきたい。道路が良くなることはいいことだが、交通事故という不安も出てくる。道路が広がってスピードが出ている。また道路に縁石があるが、他町村から来た人、用事が

あつて来る人が縁石に乗り上げるのを目にするので、何かいい方法がないかと思う。冬は縁石が見えず、除雪された後は全部が縁石のようになりどこが縁石かわからなくなって危ない。ポールなど何か目印になるものを縁石のあるところに立ててもらいたい。

A

新市中央線の工事は終了しました。山を切って信号機のところまでという計画であり検討しましたが、1億円以上のかんりの事業費がかかり、なかなかできないということでこういう状況です。冬季の縁石について、デリネーターは視線誘導灯で等間隔につけていくものです。出入りに関しては景観のこともありますがマーキングしてもらうぐらいでお願いしたいと思います。将来的にはポールを立てることも考えたいと思いますが、市全体でもそういうところがかんりあるので、まずは検討していきたいと思います。(建設部)

交付金事業としては一応の終結を見ましたが、あそこの崖の件については伺っており、現場も承知しております。現地を改めてよく見て地元の意見を聞きながら何らかの対策を講じていかなければならないと思いますので、共通の時間を持たせていただき進みたいと思います。(市長)

木次町西日登地区

Q 3 4 5 [斐伊川の整備と周辺開発]

当西日登の定住推進のための提言として、上流に尾原ダムができ、下流には斐伊川放水路ができることに合わせ、中国電力の逆調整池を埋め立て、子育てのできる新住宅地と、地域運営型のケアホーム、年寄りが年寄りを守るといふものを作れば経費の面でいいのではないか。また斐伊川護岸の改修に合わせて斐伊川沿いを親水公園化して環境を良くしてはどうか。また斐伊川を舟で上ったり下ったりする観光型の事業も良いのではないか。いろいろな問題もあり、時間もかかると思うが、西日登だけではなく雲南市にとつても、この斐伊川を用いた可能性というのが高いのではないか。これについて研究を重ね、具体的な施策を行うことが産業の発展に有益だと思う。

A

なるほど尾原ダムや斐伊川放水路ができれば逆調整池を埋め立てることができるのなら、これは良いことだと思いましたが、そのあたりについてまずは確認してから相談させていただきたいと思います。川の上り下りができれば本当に良いと思います。今後ともご相談いただきながらやっていきたいです。(市長)

Q 3 4 6 [斐伊川沿いの除草について]

正理自治会の斐伊川沿いの草刈は自治会内の9軒で自分たちでやっているのに、隣接した下熊谷では業者が何回も草刈している。こうした行政サービスの差がどこから出てきたのか聞きたい。

A

今状況が分かりませんので、明日にでも状況を伺って対処したいです。(木次総合センター)

地域によってえこひいきをしてここでは2回、あそこでは1回、ということは市ではやっておりませんが、そこだけはお約束します。(市長)

木次町斐伊地区

Q 3 4 7 [国道54号里方交差点の整備について]

里熊橋北詰から尺の内工業団地間の4車線化について、里方交差点は現行でも変則交差点であり事故も多く、地域が利用しやすい交差点にしてほしい。また周辺に市の新庁舎建設が予定されているとも聞いており、情報があればいち早く地元へ提供してほしい。

A

里方交差点については旧木次町時代からご意見いただいております。三刀屋側が拡幅されましたが、国により凍結となっており、市としては三刀屋側と木次側で車線が異なることは将来のまちづくりが進まないと考えており、国で事業継続がなされ、今年度は調査設計費がついて現在進められております。引き続

き第3期事業ということで里熊橋北詰から里方交差点については三刀屋拡幅事業として整備が進められる予定となっております。(建設部)

Q348 [請川合流部の木竹伐採について]

請川と斐伊川合流地点の樋門のところから下流、通称ナマズの尾は現在竹や雑木が生い茂り、増水したときにその役を果たしていない。この合流地点の根本的な解決として、かねてより動力揚水装置の設置をお願いしているところであるが、当面は早急に竹・樹木の伐採をお願いしたい。

A

今年8月26日に県土整備事務所に30トンの排水ポンプ車が配備されました。9月3日に新田川樋門で操作訓練されています。当初は請川が予定でしたが、県道の通行規制の関係があったため、新田川になりました。請川、三谷川、新田川について順次訓練をする必要があると思います。ナマズの尾については樋門が降りた後に内水排除できる大事な機能をまだ担っております。8月30日には雲南県土整備事務所長へ市長から請川の浚渫・除草について要望しております。9月28日には出雲河川事務所長へ副市長より請川の立木伐採について要望する予定です。(建設部)

ナマズの尾については木が生い茂っており、ゲリラ豪雨等の際に役に立つのかと市としても危機感を持っており、早急に伐採していく必要があるということで、河川事務所長に伐採について重ねて強く要望していきたいと思います。また斐伊川河川整備計画の完成に向けては市として斐伊川堤防の強化も盛り込むよう条件付けしております。内水対策については国と県が連携して対策してもらうことが条件であると思っております。できるだけ早く伐採ができるように努力していきます。(副市長)

木次町下熊谷地区

Q349 [斐伊川水系の治水対策について]

早急に斐伊川水系の治水対策について、国及び県への要望を強く望みたい。また、下熊谷上公会所前河川敷の親水ゾーンは雨天時には排水が不十分で雨水が溜まっている状況である。この区域は桜まつりや桜レガッタ等の駐車場にもなっており、多くの人々が利用しているので、排水設備への対応をお願いしたい。

A

斐伊川水系の河川整備計画については、今年6月に国土交通省出雲河川事務所から来ていただいて市議会の全員協議会を行い、その中で今後20年後の斐伊川水系の整備を定める斐伊川水系河川整備計画に下熊谷堤防強化を盛り込むということです。市としても早く実現されるよう国へ強く要望していきたいと思えます。また公会所前の河川敷排水については、親水護岸ということで、今後河川事務所と協議して排水対策、排水流末の調査をしていこうと思っております。(建設部)

Q350 [関連質問]

斐伊川河川敷の水溜りの話は何回も言っているが、それが未だにこれから協議するということでは不信感を持つ。無理に排水しようとするのではなく、暗渠排水すればとりあえず目立たない。

A

国土交通省との協議の中で、公道とは認められないということが出てこようかと思えます。ご意見をいただいたので、こちらからも言っていきたいと思えます。(建設部)

大変申し訳なく思っております。今月終わりに河川事務所所長に防災対策について要望する機会があるので、私の方からも要望させていただき、その結果をすぐにお知らせしたいと思えます。(副市長)

木次町温泉地区

Q351 [尾原ダム下流域の河川整備について]

斐伊川の洪水対策について、元々3点セットということで国の対策に地元が同意して着々と進んでいるが、尾原のダム湖周辺は整備されているが、湯村の中流地域はどのようになっているのか。以前も湯村の多くの家屋が浸水している。何か計画があるのかどうなのか。

A

直下流については国土交通省が直轄で整備しますが、下流部は熊谷大橋までが県の管理区間となっており、国と県の管理の違いによって整備の違いがあると思われます。斐伊川河川整備計画が策定され、今年度最終的なものが出ますが、ダム整備計画については上流部計画が出ておりません。ダムによる治水対策によって洪水に対する対応が調整されていきますが、ゲリラ豪雨等どういう状況になるかわかりませんので、国・県に要望しておりますし、今後もさせていただきたいと思っております。(政策企画部)

Q352 [関連質問]

以前にもお願いしたが、赤道がなくなり山が現れて根返りした杉の木もひっくり返っていて、引っかかって大騒ぎした。県管理はまったくほったらかしで、木は生えるし、袋が引っかかっているところもある。河川の整備について働きかけてほしい。

A

今年の市政懇談会でも要望いただき、県に要望しましたし、現地も見てもらいました。県のほうももう少し様子を見たいということで、適宜対応したいということです。こちらも引き続き要望していきたいと思っております。(建設部)

Q353 [金谷川の改修について]

水路補修や農道補修は、農地水や直払いで取り組んでいるが制約があって迂闊にかまえないところがある。湯村の金谷川の支流に飛高川という砂防河川がある。金谷川の三面水路が荒廃しており、漏水がある。地元でもできないが、最低目止めしたいと思っても専門業者でないとできない。川底も砂利が出ているので全面改良をお願いしたい。(前側 西村さん)

A

金谷川等の改修について、一部改修は継続的にしており、今後もそうした対応をしていきたいと思っております。全面改修については今後の検討とさせていただきます。(木次総合センター)

Q354 [農道の修繕について]

農道についても一部盛土が陥没しており、地元でコンクリートを張る話も出たが、路肩の幅をもう少し取らないとガードレールのところまで路面が崩れているので、点検、整備をお願いしたい。

A

農道の路肩については位置等について地元と協議させていただき、基本的に維持管理しかありませんが話をして検討していきたいと思っております。(木次総合センター)

Q355 [国道314号の工事について]

国道314号で工事をされていたが門自治会の監視カメラのようなものは何か。

A

島根県の設置したもので、中にどういうものを設置するのか定かではありません。調査の上、回答したいと思います。(建設部)

木次町三新塔地区

Q356 [道路の維持について]

自分の家の前の道路が整備されておらず、通行人が転んだ、数人引っかかっている。

A

道路については早急にチェックして対処したいと思います。(木次総合センター)

大東町塩田地区

Q357 [市道の維持管理について]

市道川井箱湧線について、ミシマ産業が撤退されて、事務所の入口の所にコンクリートが道路上から25cm位出たまま残っている。官民の境界が分からないが、もし、出来得ることならその台座のようなものを撤去してもらいたい。そうすれば通行もスムーズになり、交差もし易くなる。また、以前に採石の山が積んであった所で、雨が降ると、山から道路に水が流れ、下へ出てくる。特に下のカーブの所は一年中水たまりの状態になっている。側溝とかを設置してもらいたい。

塩田ダムの進入路であるが、堰堤の周回道路の草刈りは住民ボランティアで夏に刈っている。しかし、

ダムまで行く進入路は何も対策がとられておらず、道路幅の半分以上まで両側から草が繁茂し、道路が使えない状態である。

A

コンクリートについては、官民境界が分からないので、官民境界を調べて、それについて協議するなり、取るなり、検討する。水たまりについては、パッチングで対応しているが、すぐに穴が開いてしまう。下に（湧）水があると思う。水道管もあるので、側溝はすぐには設置することができない。現地を見ながら検討したい。

ダムの入口の道路については、皆さん方にお世話になっている。奥の方は地元でやってもらっているが、手前の方はかまっていない。草刈りについては、大東総合センターが緊急雇用対策で雇った臨時職員で行っている。建設部と大東総合センターとは連絡を取りながら対応したい。（建設部）

コンクリートの処理方法については、官民境界を調べながら、協議したい。道路の路面水処理については、予算措置に取り組みます。

塩田ダムへの市道の除草については、毎年秋には一回除草作業はやっている。しかし、除草の回数が少ないということで、春は草が少ないので、良いですが、夏に伸びて、何回も刈る必要がある。回数を増やすよう、検討する。（大東総合センター）

Q 3 5 8 [関連質問]

川井箱淵線は迂回道路としての使用道路になっている。上側で茂った木が道路に出ている。（農作業）機械を乗せた高い車は当たる。山際の枝も除伐されたい。今後笹谷地区の通行規制が解除されると今度は道路改良で三叉路の所が規制されてくる。手を加えてもらいたい。よろしく願います。

A

期待に沿えるようにしたい。（大東総合センター）

[再質問]

ガードレールが見えなくなる程、草が繁茂している。緊急雇用対策の臨時職員さんではゲラ（急な斜面）は無理だ。

A

川井箱淵線は上久野大東線の迂回路として、もう少しの間、通ることになる。確かに木が道路に出ている。高所作業車を昨年買った。センター持ち回りで利用できるのも、フルに活用しながら、対応したい。チェーンソーを使うことが多いので、森林組合等のプロの人をお願いします。（建設部）

Q 3 5 9 [県道上久野大東線道路改良について]

小学校が統合する。車もドンドン通るわけである。緊急時に緊急車両が狭い道を通って来る。サイレンが鳴ってもなかなか来ない。上久野大東線の道路整備を引き続いてお願いしたい。離合する場所も少ない。

A

上久野大東線は昨年の経済対策で大分進んだ。木次土木建築事務所に聞いたところ、雲南県土で90億円位、事業予算を持っている。経済対策を含めると114億円位ある。上久野大東線は1.5車線道路改良で220m箱淵をやっていただくことになっている。段々、塩田でも待避所の整備を行う。10カ所発注される。一気に2車線整備は無理である。休止工区も動きだした。市もできるだけことはやっている。また、光住宅のあたりも工事が始まる。塩田地区については、一気には無理だが、少しずつ進んでいる。県へは要望していく。（建設部）

大東町阿用地区

Q 3 6 0 [市道蓮花寺支線の路肩崩壊について]

市道蓮花寺支線、路肩が決壊している。蓮花寺は札所であり阿用にとって唯一の観光地である。事故につながる危険もあるので早急に対応していただきたい。改修までのところ、看板の設置も願います。

A

早急に対応していきたい。（大東総合センター）

必要があるところは優先的に直していつている。お金がないことを理由に放置することがないようにする。(市長)

大東町幡屋地区

Q361 [道路の路肩決壊箇所の修繕について]

駐在所からAさん宅のカーブの路肩の所に穴が開いている。プラスチックの物が置いてあるが一向に直される気配がない。子供が毎日通い、バスも通っているが、私も歩いていて気持ちが悪いし落ちないようにして歩くが、ずっとそのままだ。お金がないといってもそういう場所はやっぱり直ぐに直してもらわないといけないと思うが。

A

町内にそうした箇所があり、独自にパトロールもやって危険な所から逐次直している状況である。現在経済対策で臨時雇用等もしている中でやっており明日直ぐに現場調査して対応を検討したい。(大東総合センター)

Q362 [関連質問]

うちの方でも棒を立ててトラロープが巻いて看板が立っているが事故も起きているし、もう何年越してそのままだ。いい加減にやらないと誰も不信感が出る。災害にかかる、かからないと言う前に道路管理者としての責任が問われる。道路管理者はきちっと管理しないといけない。災害に直結するようなものは常に目を配ってやってほしいと思う。

A

道路の陥没箇所があるという話、早速現地を確認して今後の対応をお伝えしたいと思う。(市長)

大東町佐世地区

Q363 [市道の改良について]

西阿用線改良工事について、早急な着工をお願いしたい。

免別線はとても狭く、特に子供たちが草につかまりながら市民バスを避けていて非常に危険である。また、佐世線の改良工事について、佐世にとってとても大切な道路である。特に西阿用の元学校から奥が急に狭くなっている。退避所だけでは危険であり早急に対応してほしい。

A

バスの通行時に子供たちの安全が脅かされないように、急ぐものから早急に対応したい。
佐世線については、私も状況は把握している。地元の皆様と協議していきたい。(市長)

佐世線については、現地を見させていただき現状は承知している。免別線改良後佐世線の改良を考えている。限られた道路予算の中で最大限の努力をしていきたい。(副市長)

大東町春殖地区

Q364 [主要地方道玉湯吾妻山線春殖地内の改良について]

7月22日県道出雲大東線バイパスが開通し、交通もスムーズになり安全安心の面で地元として喜んでいる。しかし残された春殖地内の問題に松江から飯石・仁多方面がある。

県道の状況を見ると玉湯吾妻山線が仁多方面から大東方面へ出るということで、玉造から遠所へ街道を変えている。いよいよ春殖地内が残されている。この整備についても、市の立場で色々努力をいただき速やかな開通をお願いしたいと思う。これについては、当地区としては十分な協力を申し上げたい。

A

はじめに春殖地区内の皆さまには、用地等お礼申し上げる。

川の向こうは松江水次線バイパス、柿坂から泉谷まで、また、駅前開発事業、下水処理場の周辺、立南線の改良。川のこちら側は、7月22日盛大に竣工をいただき出雲大東線グリーンシティから躊躇なくこちらへ出られるようになった。8年間もかかったがたいへん喜んでいる。

それから川については、山田川改修これも用地についてお世話になった。養賀原圃場整備事業が進む中、

昭和セメントの周り立南線荒神さんの周り道路改良をすることにしている。春殖地区について非常にアクセスがうまく行っていると思っている。

このセンターから宍道インターまで、中山団地まで7キロ、加茂を回って8キロ。そして、砂子原農道改良になり、今度砂子原から幡屋まで新規採択に向かっている。これを通ると約7キロということで中山団地からは3.5キロくらいあるので、宍道インターまで11.5キロ位になる。三刀屋インターまではここから8キロで、南も西も近くなった。

玉湯吾妻山線については、春殖地内やらなければならないが、今、公民館の後ろ踏切の周りを歩道整備させてもらい横当橋までやる予定。横当橋については当初張り出しでやるということで計画して

いたが、検討されて慎重に対応するといっている。玉湯線のルートについては幡屋の方が退避所設置ということでだいぶ工事がやられるということで、アクセス的には恵まれていると思うので、皆さん方にはご協力をお願いします。(建設部)

Q365 [過去の災害による道路の被害箇所について]

平成18年か19年の夏か秋口にゲリラ豪雨が来て思わぬ被害が出たことご存じだと思う。市道が崩れて私の田んぼに入った。田んぼへ入った泥は自分で片付けてそれはそれで良かったが、その後改めて見ると、その時期その前後だったと思うが、たいした被害ではないけれども県道とか路肩が崩れたりしている所が沢山あった。今でもそのままになっている。通常見るところでも3~4か所あると思う。私の知っている所は2~3か所ある。この近くで実際にそういう所がどれ位あるか把握しているか？そうであれば直すつもりがあるのかなのか、どんな計画で直していかれるのかお聞きしたい。

私が言っているのは市道だから、市外の人も沢山歩かれる。いくら少しであっても崩れておればそんなに格好良いものではないと思う。

そういう所へ今は草が沢山生えて崩れた跡が見えなくなっているけれど、その場所を道路愛護だと掃除をさせるのもおかしいし、現に掃除すると次に雨が降った時、また崩れると心配にもなる。是非再度見ていただいてそういう箇所が何か所あり、どんな計画で直すかどうか、案外お答え難い所もあると思うが、そう思っている市民もいるので今日教えていただきたい。

A

大体災害は起きるとその年に災害査定、国から来てもらい申請した場所の査定を受けてそれから復旧していく。だいたい3年で復旧していくことで、60万以上じゃないと公共災害には取れない。

1mや2m崩れた高さもありますが、どうしても大きな災害でないと取れないという、採択基準があり、それに乗らんと取れない。だいたい取れる分については現場を見ながら現地調査をしてそれから測量に入って査定にもっていく訳だが、小さい災害については対応できない所はある。

農災については、地元負担があるし、泥が田んぼの中に入るとそれは30万円以上でないと、泥を取って出すにも負担金が必要で、個人のを直す同意もいるということで、地元と申請者と農林土木課でやる。今まで投げてある所があるということで大変申し訳ないけれども、山から出た泥が道路に出て来た分については、取りながら復旧して行くが、崩れたままになっている分については、小さい災害だということである。単独災害というものもある訳だが、これもお金が要る。それで直していくと、起債を受けてやる訳だが、これも60万円以下でやれることはやれる。

箇所の把握は、センターで申請があったものを見ながら本庁へ上げて、確認しているけれども、多少打ち合わせで案外残っているのがあるかもしれない。数については把握していないが、センターの方から返答させていただく。(建設部)

平成18年並びに21年も大雨が降ったが、特に平成18年は大災害であり、通常の維持管理費ではなかなか難しい。

先程建設部長が言ったが、崩土の取り除きは出来るが、路肩の修繕については、事業費が高いため、なかなか直せない現状があり危険ポール等設置している。そういう場所に草が生えてなかなか判り辛くなっている現場も沢山ある。平成21年度は経済対策が国から来て、それで一部分は直しているが現在でもまだ直せなく残っている部分が多々ある。認識はしていて財政当局に対して都度予算要求をして予算の確保

しながら今後直していきたいと思っている。それから農災については、40万円以上ということである。公共災害について、昔に比べ現在は舗装道路が結構被災をして本当に危ない状況にならないと取ってもらえない状況にある。今は本当に査定が厳しく、取っていただけない部分を全てセンターが維持管理部門ということで直していかなければいけない。しかし通常の維持費というのは限られているので、国等への要望を含めて財政当局へ対しても要望しながら出来るだけ安全な道に早期にやっていきたいと思っている。(大東総合センター)

[追加意見]

農災の部分については、すぐ対応してやっていただけた。道の部分だけだけれども、認識しておられることで今日のところは満足している。あてにしますのでよろしく願います。